

保育者養成校におけるピアノ基礎指導教材（2） —『ピアノ基礎練習曲』の改訂—

小澤 真美子

Teaching materials for Basic Piano Instruction at Training schools for childcare (2) — Revision of “Basic Piano Etude” —

Mamiko OZAWA

キーワード：保育者養成 ピアノ初心者 ピアノ基礎練習曲

I. はじめに

保育者養成校である本学のピアノ指導科目「器楽Ⅰ」では、2021年から『バイエルピアノ教則本』の採択を中止し、それに代わって、ピアノの基礎を効率良く身に付けられるよう、独自の教材を作成し、使用している。

筆者は2021年度に『ピアノ基礎練習曲』を作成して導入し、その活用状況や担当教員へのアンケート調査結果をもとに、その課題を見出した（2022，小澤）。2022年度は、その課題を解消するべく『ピアノ基礎練習曲』を改訂し、使用した。そして2023年度は、『ピアノ基礎練習曲（2022）』をもとに、『ピアノと音楽』という教材を作成し、使用した。

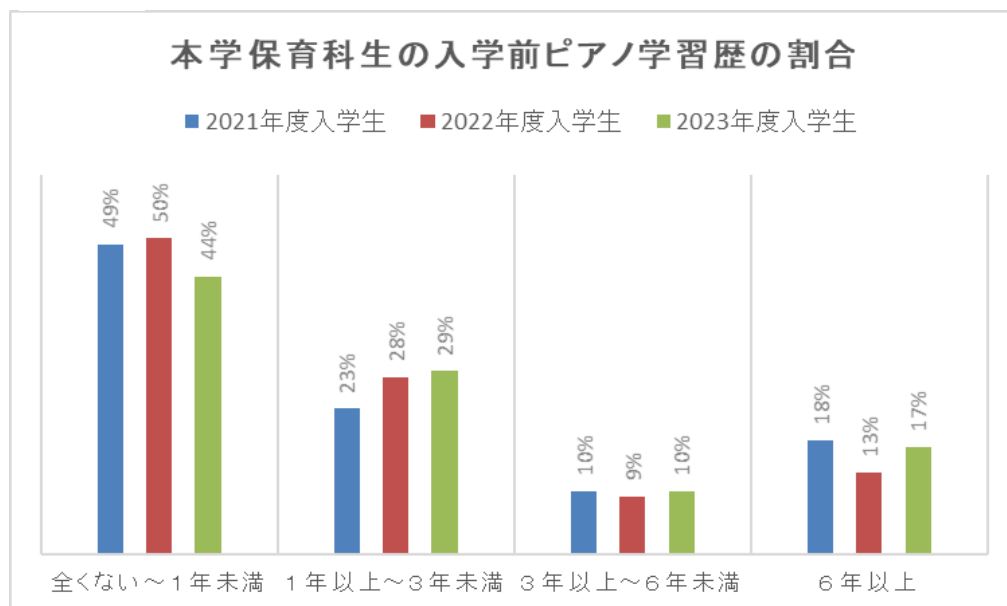
本論は、『ピアノ基礎練習曲（2022）』、そして2023年度の『ピアノと音楽』について、その活用状況、および担当教員と学生の反応について、まとめたものである。

II. 『ピアノ基礎練習曲』の改訂

（1）本学保育科1年生の入学時ピアノ学習状況

まず、本学保育科2021年度～2023年度入学生の入学前ピアノ学習歴は、図1に示す通り、約

図1.



半数が「全くない～1年未満」であり、約3割は、高校の授業内で経験した学生が多く含まれる「1年以上～3年未満」である。つまり、約8割はピアノ初心者と言えるため、

【入学前WEBピアノ講座】を配信し、ピアノ演奏への導入を行っている。2022年度お

よび 2023 年度入学生の【入学前 WEB ピアノ講座】の内容は、以下のとおりである。

【入学前 WEB ピアノ講座】

- ① 紙鍵盤の作成・使い方
- ② ピアノについて
- ③ 中央のドと音符の位置・楽譜の読み方
- ④ 調性について（ハ長調・ヘ長調）
- ⑤ 指番号について
- ⑥ 「じゃんけんれっしゃ」について
- ⑦ 「じゃんけんれっしゃ」（初心者用）模範演奏
- ⑧ 「じゃんけんれっしゃ」（初心者用）右手の練習
- ⑨ 「じゃんけんれっしゃ」（初心者用）左手の練習
- ⑩ 「じゃんけんれっしゃ」（既習者用）楽譜解説
- ⑪ 「じゃんけんれっしゃ」（既習者用）模範演奏

（2）『ピアノ基礎練習曲』の改訂

筆者は 2021 年度の『ピアノ基礎練習曲』（以降、2021 年度版と呼ぶ）を改訂し、『ピアノ基礎練習曲（2022）』（以降、改訂版と呼ぶ）を作成した。その比較を表 1. に示す。2021 年度版の「音階練習」と「小曲」の組み合わせは、調性の学びを楽しく進めていけるように、改訂版においてもそのままにしたが、改訂版では「音階練習」をいきなり両手で音階を弾かせるのではなく、先に進んでいくごとに段階的に音階に慣れていけるよう、工夫した。また、「小曲」については、担当教員の意見の中から「初心者でも知っているメロディであること」と「試験の選択曲としても活用できること」を反映し、筆者の作詞作曲ではなく、既存の楽曲とすることとした。

表 1.

	改訂前『ピアノ基礎練習曲』	改訂後『ピアノ基礎練習曲（2022）』
1 曲目	(1)ハ長調 ・音階 2 小節&カデンツ 2 小節（両手）	(1)ハ長調 ・右手のみ 1 小節&左手のみ 1 小節&両手 2 小節
2 曲目	① すべりだい ・ハ長調、4 分の 4 拍子、4 小節	「いっぽんばしにほんばし」 ・ハ長調、4 分の 4 拍子、8 小節
3 曲目	(2)ヘ長調 ・音階 2 小節&カデンツ 2 小節（両手）	(2)ヘ長調 ・右手のみ 1 小節&左手のみ 1 小節&両手 2 小節
4 曲目	② おくつ ・ヘ長調、4 分の 4 拍子、4 小節	「おはようのうた」 ・ヘ長調、4 分の 4 拍子、8 小節
5 曲目	(3)ト長調 ・音階 2 小節&カデンツ 2 小節（両手）	(3)ト長調 ・両手 4 小節（左手は重音含む）
6 曲目	③ いちごのクレープ ・ト長調、4 分の 3 小節、4 小節	「はじまるよはじまるよ」 ・ト長調、4 分の 2 拍子、12 小節
7 曲目	(4)ニ長調 ・音階 2 小節&カデンツ 2 小節（両手）	(4)ニ長調 ・両手 4 小節（左手は和音）
8 曲目	④ なかなおり ・ニ長調、4 分の 2 拍子、8 小節	「ゆらゆらボート」 ・ニ長調、8 分の 3 拍子、8 小節
9 曲目	(5)イ短調 ・音階 2 小節&カデンツ 2 小節（両手）	(5)イ短調 ・両手 4 小節（左手は分散和音含む）
10 曲目	⑤ ひとりぼっち ・イ短調、8 分の 6 拍子、4 小節	「うれしいひなまつり」 ・イ短調、4 分の 2 拍子、16 小節

Ⅲ.『ピアノ基礎練習曲（2022）』に関する調査

学生には入学前ピアノ学習歴と『ピアノ基礎練習曲（2022）』についての情報を研究に使用することについての説明をGメールで行い、同意の取得および調査をユニバーサルパスポートのアンケート機能を利用して行った。授業担当教員にはグーグルフォームにて研究への同意とアンケート調査を行った。

<調査時期>

- ①2022年度「器楽Ⅰ」履修学生への研究協力依頼と同意の取得

令和4年7月19日（火）～8月1日（月）

- ②「器楽Ⅰ」担当教員への『ピアノ基礎練習曲（2022）』に関するアンケート

令和4年7月16日（土）～7月31日（日）

<回収率>

- ① 2022年度「器楽Ⅰ」履修学生の同意…148名中137名（92.6%）が同意。

- ② 「器楽Ⅰ」担当教員へのアンケート…「器楽Ⅰ」担当者15名分（100%）を回収。

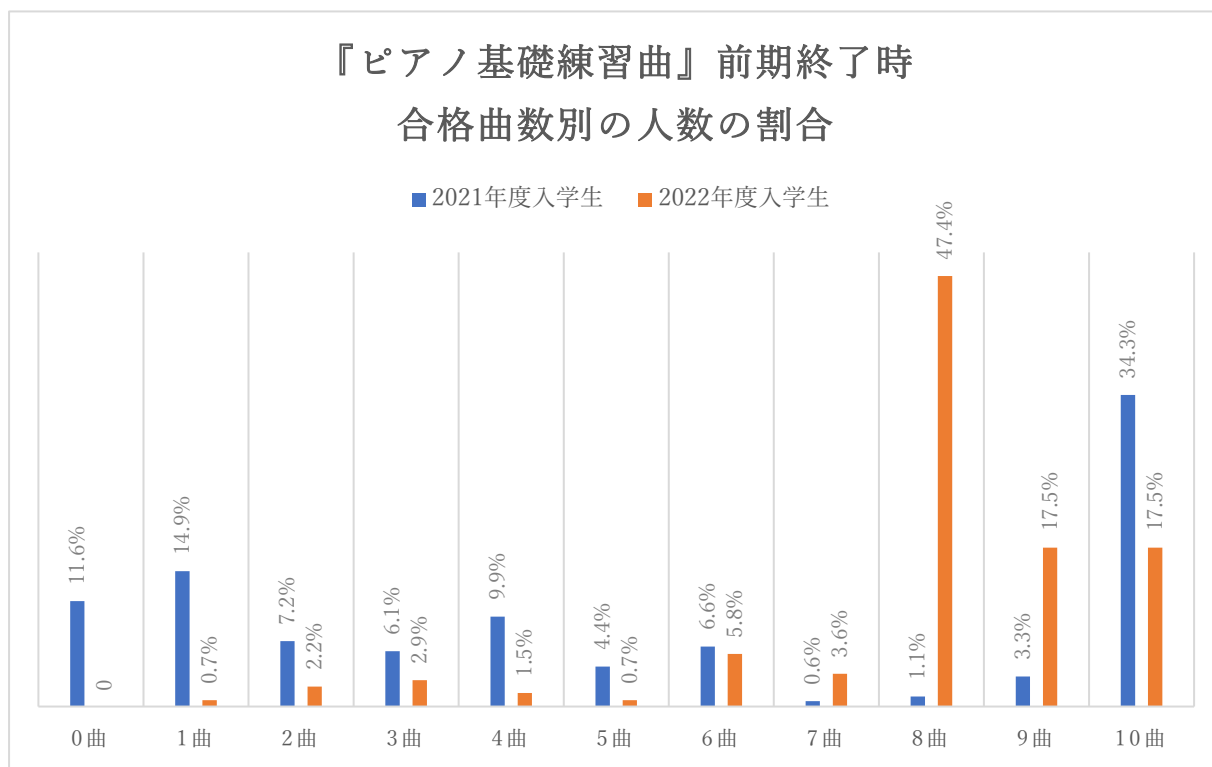
<調査結果>

（1）『ピアノ基礎練習曲（2022）』の活用状況

- ① 『ピアノ基礎練習曲（2022）』終了状況（前期終了時）

2021年度の『ピアノ基礎練習曲』における終了状況について集計する際に、音階練習も小曲も1曲と数え、合計10曲中の何曲目まで合格したかを目安としたため、2022年度も同じ方法で集計した。その結果を2021年度と比較する形で示したものが、図2.である。

図2.



2021年度は、終了曲0曲という学生が11.6%もいたが、2022年度は0%となった。「7曲以下と8曲以上の割合」を見ると、2021年度は「61.3%：38.7%」であるのに対し、2022年

度は「17.4%：82.6%」と大きく逆転しており、8曲以上合格した学生が約44ポイント増えている。この結果から、『ピアノ基礎練習曲（2022）』は、2021年度版に比べて活用しやすくなったと言える。また、『ピアノ基礎練習曲（2022）』の内容についての学生の感想や意見を入学前ピアノ学習歴ごとにまとめたものが、表2.である。

表2.

入学前ピアノ レッスン歴	『ピアノ基礎練習曲（2022）』の内容についての感想や意見
全くない～ 1年未満	<p>とても良かったです。</p> <p>ピアノははじめて習ったので、左手を使うのが難しかったです！</p> <p>ゆらゆらボートが難しい</p> <p>音階練習をして、その音階が使われている曲を弾くことで指の動きを理解して弾くので急に弾くより弾きやすかったです。</p> <p>楽譜が読めなくても弾けたし少しずつ読めるようになって良かったです</p> <p>左手が少し難しかったです。また少しずつ慣れてきたので頑張りたいです。</p> <p>初心者がとても取り組みやすい曲で、難しくなく、でもピアノの力がつくのでとても良かった。</p> <p>初心者からしたらほんとに少しずつだからやりやすいし、知ってる歌だから弾きやすかった</p> <p>初心者でも弾きやすかったです</p> <p>初心者にとっても取り組み易い練習曲だった。</p> <p>知っている曲があったので弾きやすかった。</p> <p>知っている曲があり取り組みやすかった。</p> <p>知っている曲を弾けるようになってよかった</p> <p>知ってる曲があってやりやすかった！</p> <p>知ってる曲が沢山あった</p> <p>知らない歌もあったけど覚えやすかった</p> <p>知らない曲もあった</p> <p>知らない曲もあったし、リズムが難しかったです。</p> <p>難しかったけど少しずつできるようになってよかった</p> <p>練習があって、練習曲が弾きやすかった。</p>
1年以上～ 3年未満	<p>たのしいです</p> <p>ハ長調、二長調などといった音階練習があって、取り組みやすかった</p> <p>ひなまつり難しい</p> <p>ゆらゆらボートの歌が個人的に好きです！</p> <p>レベルがそんなに高くないので取り組みやすいと思った。</p> <p>簡単で取り組みやすかった。</p> <p>基礎練習を行うことで、子供の曲の練習にスムーズに入ることが出来た。</p> <p>季節の曲もあり、将来に役立てそうだった。</p> <p>高校の時に弾いた曲や、知ってる曲が多くて楽しく弾くことができました。</p> <p>弾きやすい曲で取り組みやすかった。</p> <p>弾き歌いだから少し難しかったけど、弾けた時は嬉しかった</p> <p>知っている曲があって取り組みやすかった！</p> <p>知っている曲でよかった。</p> <p>知ってる曲もむすかしくて頑張ろうと思った</p> <p>知ってる曲や長調や短調があって弾きやすかったし、やりやすかったです。</p> <p>知らない曲もあって、新しく曲を覚えることが出来たのでよかった。</p> <p>知らない曲もあり、こんな曲もあるんだなと知ることができた。</p> <p>難しい。と思うものもあったけど弾けた時が嬉しかったです。</p> <p>聞いたことがある曲ばかりだったので練習しやすかったです。</p>
3年以上～ 6年未満	<p>楽しいです。</p> <p>基礎が分かりやすかったです。</p> <p>知ってる曲がありイメージしやすかった。、</p> <p>知ってる曲が多くて弾きやすかったです。</p> <p>知らない曲も頭に残りやすい曲で楽しかった。</p>
6年以上	<p>久しぶりのピアノだったので、慣れるのに最適な曲だった</p> <p>知っている曲があり、取り組みやすかった。</p> <p>難しくて最初は取り組むのが難しかったけど、しっかり合格できて良かったです！</p> <p>保育現場で使われる曲についてのイメージがなかったため不安に思っていたんですが、案外聞いたことのある曲ばかりで安心しました。</p> <p>模範動画があったので練習しやすかったです。</p>

これを見ると、入学前学習歴に関わらず、「知っている曲」に対しては取り組みやすさを感じていることがわかる。また、音階練習から曲に入っていくことで取り組みやすかったという意見もあった。

② 『ピアノ基礎練習曲（2022）』に関する担当教員の意見

担当教員 16 名のうち、作成者である筆者を除く 15 名に『ピアノ基礎練習曲（2022）』に関するアンケートを実施した。項目は、（１）『ピアノ基礎練習曲（2022）』に関する感想やご意見をお聞かせください、（２）『ピアノ基礎練習曲（2022）』模範動画に関する感想やご意見をお聞かせください、の 2 項目とした。そのうちの項目（１）をまとめたものが、表 3. である。これを見てわかることは、まず、2021 年度版よりも改善されたという意見、学生が取り組みやすそうであったという意見が多いことである。これは、2021 年度の『ピアノ基礎練習曲』に対する授業担当の先生方からのご意見を反映できたことが大きいと思う。そして、第 9 曲目（イ短調）以降は後期に取り組みさせる予定で指導しているという意見が数名ある。これは、10 曲目のイ短調の曲として「うれしいひなまつり」を掲載しており、後期の指導が望ましいと考えられた結果であろう。

表 3.

通しNo.	「ピアノ基礎練習曲（2022）」に関する感想やご意見をお聞かせください。
1	限られた曲数の中で、初心者でも弾けるように考慮されており、試験の選択曲でも選べるので、前年度より改善されていて良いと思う。
2	とてもよく配慮された練習曲でした。 リズムパターンも多岐にわたっていたので、良かったと思います。
3	初心者の学生にも弾きやすくほとんどの学生が二長調まで学習できました。選択曲子どもの歌と連動している事でわかりやすく、こちらも指導しやすいです。ありがとうございます。イ短調は後期に選択曲と一緒に練習するように指導しています。
4	初心者の学生も練習すれば弾ける内容でした。量もちょうど良いと思います。
5	子供の歌などで作られていて、去年よりもやりやすかった。
6	4小節という短い曲で取り組みやすく、その中に基礎的な要素がしっかり組み込まれておりとても良い教材だと思います。限られたレッスン時間内で基礎力をつける意味では学生のみならず指導する方にとっても助かることです。 また、同じ曲で調を変えることにより調性の理解もしやすくなって良いと思います。 楽曲については、易しくアレンジしてあることや全て選択曲に入っていることで初心者でも負担が少なくなっていると思います。
7	昨年の「基礎練習曲」と比べて、随分使いやすくなっていると思いました。特に初心者にとってはとても使いやすくなっていると感じました。実際、昨年よりも進み具合が早かったし、合格した曲も多かったです。基礎練習曲の中に入っている曲が選択曲に組み込まれているのも、学生にとってはちょっと得した感があるかも…とも、思いました。
8	昨年より、その後も使える曲が多かったので良かったと思いました。
9	・子供の歌が導入され、レパートリーとして学べる1曲となったので、保育科生として学習する流れに繋げやすくなったと思います。 ・音階練習曲と子供の歌の伴奏部が関連して学習出来るように考慮されていたので、指導しやすくなりました。 ・(5)イ短調は、後期課題曲とセットと考えていたので、前期ではまだ取り組んでおりませんでした。すみません。
10	なし
11	基礎練習曲は、色々な奏法が厳選されていて初心者でも経験者でも、スムーズに取り組んで弾く事が出来たと思います。また、昨年と違い試験の課題曲に選べ構える事なく練習に取り組めていました。
12	今回の基礎練習曲は初心者にも弾きやすい曲も含まれており、選択曲のレパートリーを増やすことも出来たので取り組みやすかった。
13	スケールと合わせ簡単な曲で初心者の生徒さんも弾きやすそうでした。
14	これから様々な曲に接する指針となります。
15	音階練習と弾き歌いし易い曲との組み合わせが良かったです。学生にとって取り組みやすく、練習の習慣化のきっかけになりました。

(2)『ピアノ基礎練習曲 (2022)』模範演奏動画の活用状況

① 学生へのアンケートより

2021 年度版では模範動画に解説を加えたものを配信したが、解説部分は視聴率が低く、あまり活用されていなかった（小澤，2022）。よって、2022 年度は演奏部分のみを動画にし、配信した。その視聴頻度をまとめたものが、図 3. である。92% の学生が、一度は視聴しているという結果になった。また、そのうち、「1 曲につき、何度か視聴した。」という学生は 33.6% で、その理由としては、半数以上の 51.9% が「指遣いや指の運びを確認したかったから」であった。このことから、鍵盤を上から見える形で撮影したことには意味があったと言える（図 4.）。一方で、「一度も視聴したことがない。」と回答した学生の理由としては、「視聴しなくてもなんとなく弾けたから」（45.5%）が一番多く、その回答者は全員、入学前ピアノ学習歴が 3 年以上であった。次に多かったのは、「動画があることを意識していなかったから」（27.3%）であり、こちらには入学前ピアノ学習歴 3 年未満の学生も含まれていた。このことから、もっと積極的に活用を促し、ピアノ初心者の自主学習への取り組みの質を上げていかなければならないと感じた。

図 3.

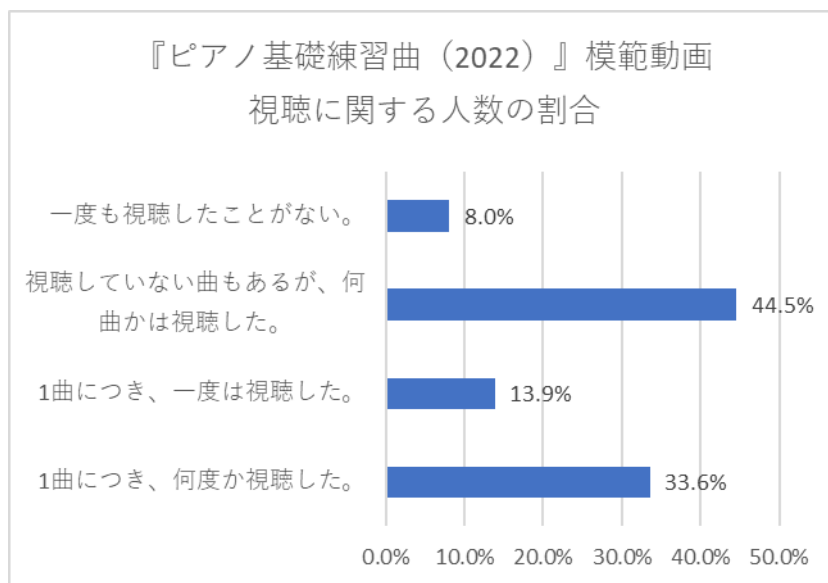
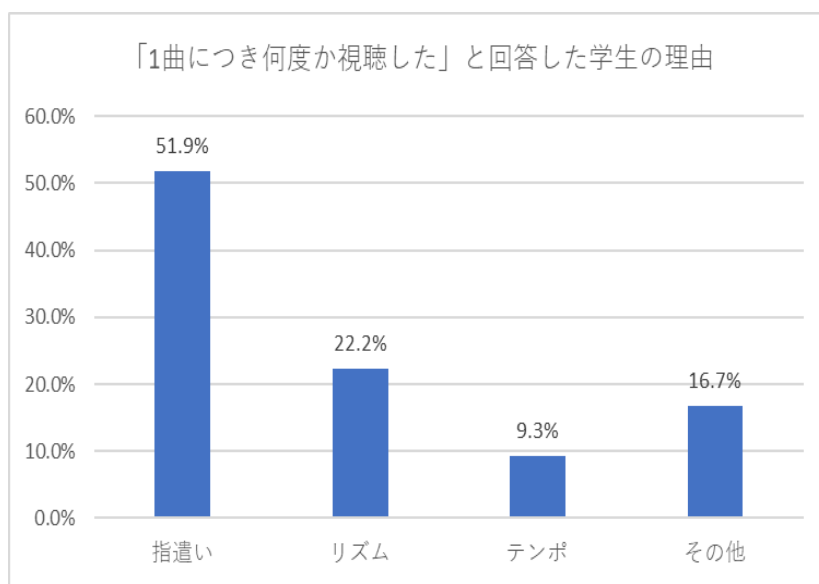


図 4.



② 担当教員へのアンケートより

アンケート項目 (2)『ピアノ基礎練習曲 (2022)』模範動画に関する感想やご意見をお聞かせください、に対する 15 名の回答者のうち、12 名が「模範動画の活用は学生にとって非常に良い。今後も続けてほしい。」といった内容の回答であった（残りの 3 名は「特になし」であった）。特に、ピアノ初心者の学生の取り組みやすさにつながったという意見が多かった。また、「視聴したい曲を再生しやすい工夫（チャプター付け）がされていてよかった」という意見もあ

った（表 4.）。今後もより使いやすい模範動画の作成と配信を継続していきたい。

表 4.

通しNo.	「ピアノ基礎練習曲（2022）」模範動画に関する感想やご意見をお聞かせください。
1	わかりやすくて良いと思う。 次年度も模範動画をお願いしたいです。
2	初心者の学生さんはとても活用していたと聞いてます。これからはこのようなツールも必須だと思います。
3	学生は模範動画のおかげで自分一人でも練習しやすいと好評です。 ぜひ続けていただけたらと思います。
4	なし
5	模範演奏があり、生徒も助かると思う。
6	全ての選択曲について動画があり、また試聴したい曲を再生しやすい工夫もされていてとても良いと思います。 撮影の仕方・演奏共に試聴しやすく、指使いやリズムなど大変参考になる動画だと思います。 たくさんの曲の動画作成にお時間を割いていただき、とても感謝しております。
7	初心者が弾くような簡単な曲に関しては、動画を試聴する学生もいると思います。 しかし、ある程度の実力の必要な曲については試聴する学生はいるかな？と思いました。
8	どの曲も簡単なもの、難しいものと、模範動画を用意していただいており、学生たちも助かっていたと思います。 ありがとうございます。
9	模範演奏にチャプターが用意されていたので、学生には繰り返し視聴がしやすい動画内容になっていて良かったと思います。
10	なし
11	動画がある事で何回も見直して練習が出来、初心者は、取り掛かりが進んで出来たと思います。また、経験者の中でも、最近では童謡を知らない曲もあり、メロディーやリズムを動画から練習のきっかけになり役に立っていたと思います。動画の活用は、とても良いです。
12	初心者の学生は動画を見ながら練習に取り組み、動画があることで自宅練習しやすかったようです。
13	模範動画を見て練習している生徒さんもいたみたいで、良かったと思います。
14	学生たちにわかりやすくて取り組みやすくなります。
15	なし

IV. 《ピアノと音楽》の作成

（１）作成の背景

2022 年度まで「器楽Ⅰ」は通年科目（単位数：2）であったが、2023 年度からは前期科目（単位数：1）となった。それに伴ってピアノレッスンノート（授業記録ノート）を改変するにあたり、冊子型からファイリング型のピアノレッスンノートに変更し、それまで別に印刷して配布していた楽譜を、ピアノレッスンノートに組みこむ形に変更した。その際に、学生が最初に取り組む教材名として、『ピアノ基礎練習曲』という名称より親しみやすい、《ピアノと音楽》という名称に変更した。

（２）《ピアノと音楽》について

『ピアノ基礎練習曲（2022）』においては、表 1. にあるように、2 曲目が「いっぽんばしにほんばし」であったが、試験の選択曲として数名の学生がそれを選び、弾き歌いするのを審査した経験から、あまりにも簡易すぎると考え、「トマトはトントントン」に変更した。また、4 曲目にへ長調の曲として「おはようのうた」を配していたが、曲の難易度から考えると、提示するのが早すぎてピアノ初心者の学生の躓きを生んでいたため、【入学前 WEB ピアノ講座】でも取り扱っている「じゃんけんれっしゃ」に変更した。そのことにより、ピアノ初心者学生もへ長調で躓くことなく、次のト長調に進んで、意欲を持って取り組んでほしいとの意図があった。9 曲目の

「イ短調音階練習」と10曲目の「うれしいひなまつり」については、「子どもの歌」で短音階を使用する曲が極端に少ない（「ちいさい秋みつけた」のニ短調以外は見当たらない）ことと、「うれしいひなまつり」をイ短調としてよいのか（日本音階の要素もあること）について、様々な見解もあると考え、ここには入れないこととした。構成を、表5. に示す。

表5.

	《ピアノと音楽》 曲目と特徴	
1 曲目	(1)ハ長調	・右手のみ1小節&左手のみ1小節&両手2小節
2 曲目	「トマトはトントントン」	・ハ長調、4分の4拍子、10小節
3 曲目	(2)ヘ長調	・右手のみ1小節&左手のみ1小節&両手2小節
4 曲目	「じゃんけんれっしゃ」	・ヘ長調、4分の4拍子、12小節
5 曲目	(3)ト長調	・両手4小節（左手は重音含む）
6 曲目	「はじまるよはじまるよ」	・ト長調、4分の2拍子、12小節
7 曲目	(4)ニ長調	・両手4小節（左手は和音）
8 曲目	「ゆらゆらボート」	・ニ長調、8分の3拍子、8小節

V. 《ピアノと音楽》に関する調査

学生には入学前ピアノ学習歴や合格曲記録を含む『ピアノレッスンノート』についての情報を研究に使用することについての説明をGメールで行い、同意の取得をユニバーサルパスポートのアンケート機能を利用して行った。授業担当教員にはグーグルフォームにて研究への同意とアンケート調査を行った。

<調査時期>

- ① 2023年度「器楽Ⅰ」履修学生への研究協力依頼と同意の取得
令和5年7月31日（月）～8月3日（木）
- ② 「器楽Ⅰ」担当教員への『ピアノレッスンノート』に関するアンケート
令和5年10月10日（火）～10月18日（水）

<回収率>

- ① 2023年度「器楽Ⅰ」履修学生の同意…157名中151名（96.2%）が同意。
- ② 「器楽Ⅰ」担当教員へのアンケート…担当者14名中13人（92.9%）が同意して回答。

<調査結果>

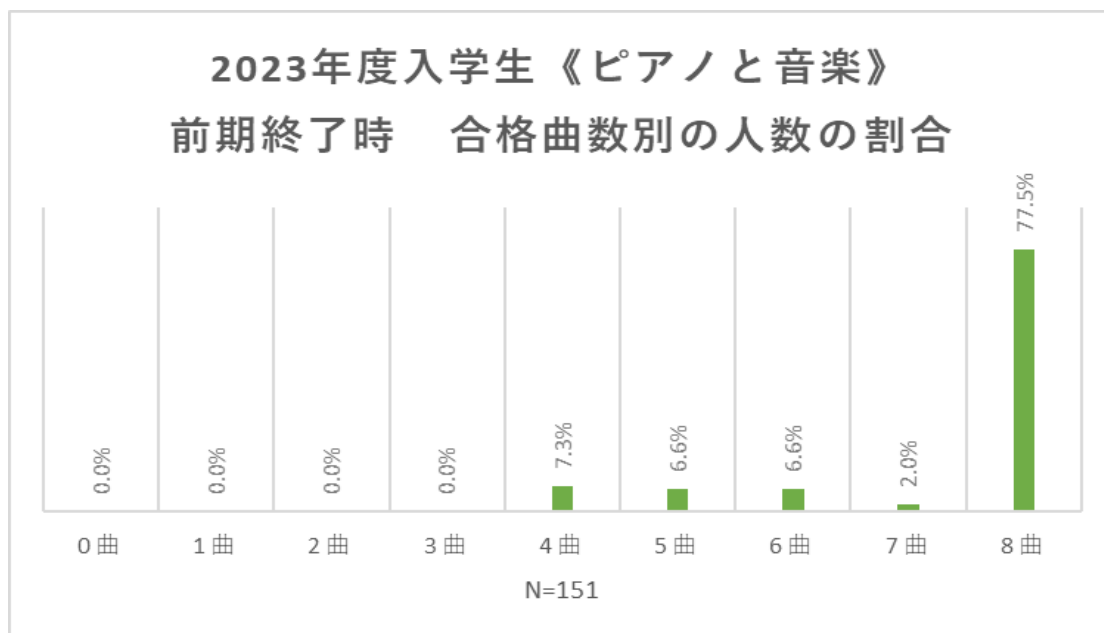
（1）《ピアノと音楽》の活用状況

① 《ピアノと音楽》終了状況（前期終了時）

表5. の8曲を、前期終了時にどこまで合格したかについて、ピアノレッスンノートの曲目一覧への合格曲記録をもとにまとめたものが、図5. である。全員の学生が4曲以上の合格をしており、77.5%の学生が8曲全て合格しているという結果となった。しかし、4曲目というのは、ヘ長調の曲「じゃんけんれっしゃ」であり、7.3%の学生がその先のト長調の音階練習を前期に終了できていないということでもある。これについては、ト長調の曲「はじまるよ」の試験における選択曲の配置の仕方などを工夫するなどして、学生が積極的に練習に取り組むようにしていきたい。そのような課題はあるものの、図2. の『ピアノ基礎練習曲』前期終了時の合格曲別の人数の割合と比較すると、3曲目まで合格の学生が2022年度に5.8%であるのに対して2023年度は0%であることから、前年度に比べて上手に活用されているということがわかる。この結果から、《ピアノと音楽》は、本学保育科学生にとって適切

なピアノ基礎練習教材と言っても良いのではないだろうか。

図 5.



② 担当教員へのアンケートより

グーグルフォームで行った『ピアノレッスンノート』に関するアンケートの中に、項目5「楽譜集について」を設定して、《ピアノと音楽》の「音階練習」および「挿入曲」が適切であったかについて回答してもらった。「とてもそう思う、そう思う、そう思わない、全く思わない」からの選択で「音階練習の難易度は適切である」については、10名（76.9%）が「とてもそう思う」、3名（23.1%）が「そう思う」という回答であった。そして、「挿入曲は適切である」についても、10名（76.9%）が「とてもそう思う」、3名（23.1%）が「そう思う」という回答であった。この結果から、次年度以降しばらくは、《ピアノと音楽》について、特に改訂する必要はないと考える。

（2）《ピアノと音楽》模範演奏動画の活用状況

2023年度も2022年度と同じく、解説を入れずに模範動画のみの構成で、調性ごと（音階練習&挿入曲）に二次元コードを作成し、楽譜に掲載した。2023年度は学生へのアンケート調査を行っていないため、2021年度と再生回数の比較をしてみた。表6.を見ると、『ピアノ基礎練習曲』に比べて《ピアノと音楽》の期間が3ヵ月ほど長くなっているが、2023年度は楽譜に二次元コードを掲載した楽譜を印刷会社に原稿として渡す関係で早く動画を動画配信サイトに上げたため、そうになっている。学生への二次元コードの提示は、2021年度も2023年度も、4月の「器楽Ⅰ」第1回目オリエンテーション時に行っているため、問題ないとする。そのうえで、（1）～（4）の合計再生回数を比べてみると、『ピアノ基礎練習曲』が506回、《ピアノと音楽》が956回と、約2倍に増えている。このように多くの学生に視聴されるようになったのは、動画の内容自体の工夫もさることながら、担当教員の先生方が模範動画の自主練習への活用の有効性を認めてくださっており、学生へ積極的に視聴を促してくださっているおかげだと考える。

表 6.

『ピアノ基礎練習曲』（2021 年度）		《ピアノと音楽》（2023 年度）	
期間：2021 年 3 月 28 日～2022 年 2 月 9 日		期間：2022 年 12 月 11 日～2023 年 2 月 16 日	
模範動画	再生回数	模範動画	再生回数
(1) ハ長調「すべりだい」	119 回	(1) ハ長調「トマトはトントントン」	243 回
(2) ヘ長調「おくつ」	154 回	(2) ヘ長調「じゃんけんれっしゃ」	181 回
(3) ト長調「いちごのクレープ」	130 回	(3) ト長調「はじまるよはじまるよ」	268 回
(4) ニ長調「なかなおり」	103 回	(4) ニ長調「ゆらゆらボート」	264 回
(1) ～ (4) の合計		(1) ～ (4) の合計	
506 回		956 回	

VI. まとめ

2021 年度の『ピアノ基礎練習曲』は、子どもの歌に出てくる調性・拍子・速度記号・強弱記号・リズム等の要素を多く盛り込んだものの、ピアノ初心者の学生にとって、少々難しい部分があり、十分に活用されていなかった。その反省をもとに改訂し、次年度に『ピアノ基礎練習曲（2022）』を導入したところ、学生の前期終了時の合格曲数も増え、授業担当者からも良い評判をいただいた。さらに 2023 年度は《ピアノと音楽》として挿入曲の工夫をし、初期で躓く学生の数が減った。来年度は、その挿入曲を試験曲の選択曲としてどのように配置すれば、より多くの学生が多くの調性について早い段階で取り組むことにつながるのかを考え、《ピアノと音楽》を学生全員が前期のうちに全て合格することを目標にしていきたい。

引用文献・参考文献

- 1) 小澤真美子（2022）.「保育者養成校におけるピアノ基礎指導教材（1）－『ピアノ基礎練習曲』の作成－」, 宮崎学園短期大学紀要第 14 号,pp.41-54
- 2) 諸井サチヨ（2022）.「保育者養成校における効果的なピアノ指導に関する一考察」, 淑徳大学短期大学部研究紀要第 65 号,pp.99-106

付記

- ・本研究は宮崎学園短期大学研究倫理審査会の承認を受けた（承認番号：2022003）。